

令和元年度 大阪府立寝屋川支援学校 第3回学校運営協議会について

大阪府立寝屋川支援学校
校長 太田 正義
准校長 岡本 智

当初、令和2年3月11日に『令和元年度 大阪府立寝屋川支援学校 第3回学校運営協議会』を本校にて開催の予定でありましたが、新型コロナウイルス感染症対策として、学校運営協議会委員の皆様には協議資料を送付し、内容を確認のうえ『承認書』の提出をもって、『令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画』の承認をいただくことといたしました。

委員の皆様及びご関係の皆様にはご迷惑をおかけし、たいへん申し訳ございませんでした。

以下に委員の皆様よりいただいたご意見等を掲載いたします。

ご協力をいただきました委員の皆様に対し、厚く御礼申し上げます。

I 令和元年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校運営協議会委員等

協議会会長：辻 行雄（一般社団法人 IL・チャレンジ L's College おおさか校長）

協議会副会長：窪田 知子（滋賀大学教育学部准教授）

協議会委員：山崎 淳（寝屋川市立梅が丘小学校長）

今泉 知之（ダスキン-レル サービス-事業部代表者）

大槻 千春（寝屋川支援学校PTA会長）

加藤 美朗（関西福祉科学大学教育学部准教授）

校長：太田 正義

准校長：岡本 智

事務部長：石川 昌義

事務局員：教頭（※和田 藤田） 首席（角尾 門田） 学部主事（西田 林 植屋）

指導教諭（日置） 進路指導主事（安井） ※印は事務局長

II 協議資料：『平成31年度学校経営計画及び学校評価（案）』

『令和2年度学校経営計画及び学校評価（案）』

『令和元年度 本校のセンター的機能の活動状況について』

『令和元年度 卒業生進路予定』

『「令和元年度 学校に関するアンケート」結果と分析』

III 議題：『令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画』の承認について

IV 協議内容・承認事項等（意見の概要）：

※各委員より過半数の『承認書』のご提出をいただき、『令和2年度 大阪府立寝屋川支援学校 学校経営計画』について、承認がなされた。

以下、『承認書』に添付された各委員の意見より抜粋

- ・ 地域の支援教育の専門性向上について、地域の小・中・高等学校には、たくさんの障がいのある児童生徒が学んでおり、地域における支援教育の向上が大変重要であると認識している。また、共に学び共に育つ教育の実現は、各校の支援教育力の向上なくしては望めないもので、ぜひ示された計画を実績として残せるようお願いする。
- ・ 次世代教員の育成について、特別なニーズのある児童生徒の数は増加し、支援学校の教員の質の向上も待たなしの状況となってきた。また、獲得すべきスキルも多様化しており、学校として校内研修等の取り組み方の焦点を絞り、自閉症スペクトラムの子どもたちに対するICTの活用や、キャリア教育に対するアセスメントについて、深めていこうとしていることは大変有用である。
- ・ 安心安全な学校について、日々の訓練をいかに非常時の行動に結びつけていくか、が大切であり、自分で考えて行動できるように、訓練方法にも工夫が必要と考える。
- ・ 「学校に関するアンケート」の結果より、「教員間で授業見学をし、授業方法について検討する機会がある」という項目で否定的な意見が多く、“授業”を通して子どもたちや教育実践の話ができる環境を整えていくことができるよう期待している。